

土地改良区広報

# 会津宮川

2024年11月  
第35号

発行 会津宮川土地改良区  
編集 総務課  
印刷 北日本印刷株式会社



## 夢のある農村づくりを目指して

目次

- |                    |      |
|--------------------|------|
| ① 理事長挨拶            | (P2) |
| ② 令和6年度臨時総代会       | (P2) |
| ③ 令和5年度財務状況の公表     | (P3) |
| ④ 土地改良区関連実施事業の実施状況 | (P6) |
| ⑤ 主な実施事業の工事写真      | (P7) |
| ⑥ 小水力発電の運営経費について   | (P7) |
| ⑦ 任期満了に伴う総代選挙について  | (P8) |
| ⑧ 任期満了に伴う役員選任について  | (P8) |
| ⑨ 油漏れ事故について        | (P8) |

面積及び  
組合員

地目	田：3,778.1ha
	畑：646.1ha
	計：4,424.2ha
組合員	3,944人

## 理事長挨拶(臨時総代会挨拶抜粋)



理事長  
杉山純一

本日ここに令和6年度臨時総代会を開催しましたところ、総代の皆様方には、平素より本土地改良区の運営にあたり、特段のご理解、ご協力を頂き心より厚く御礼と感謝を申し上げます。

さて、今年の天候は、全国的に暖冬の影響により少雪であり、ダムの貯留について心配されました。また、4月以降もまとまった降雨がなく、7月上旬にはダムの貯水率が3割に低下するなど、水不足を懸念し、土地改良区はもとより会津美里町や会津坂下町においても渇水対策本部を立ち上げ、渇水に対する準備を進めておりました。幸いにも7月中旬からの降雨によりダムの貯水位が回復し、渇水の恐れがなくなったことには安堵しているところです。しかしながら、このような気象状況が毎年続くのかと思うと農業団体としては不安が尽きません。会津の基幹産業である

農業も、この気候変動の影響は大きく、営農継続が難しくなるのではないかと懸念されます。当土地改良区としては、このような事態を打開するためにも、今年5月に、農林水産省に農業用水の安定供給、老朽化した農業施設の改修に係る対応事業及び地元負担軽減についての要望活動を行ってまいりました。今回の要望活動内容は当土地改良区が抱える喫緊の課題でありますので、今後も継続的に要望活動を行ってまいります。

また、以前からお話していたとおり、新宮川ダム発電所が運用開始から20年目を迎え、更に今年の10月には国の制度である再生可能エネルギーの固定価格買取制度が満了を迎えます。制度満了により11月以降の売電単価が引き下がり、土地改良区の運営にも影響が出ますが、組合員の皆様には多大な影響が及ばない様に努めて参りますのでご理解いただきたいと思います。

さて本日の提出案件は、報告1件、議案5件であります。主な議案として、定款の一部改定では、女性理事の登用に向けたものであり、内容については、閣議決定された第5次男女共同参画基本計画に基づき、女性理事登用割合の成果目標に向け、当土地改良区においても、その目標達成のため改定をお願いするものであります。女性の活躍の場を増やしていくことは、持続的な農業・地域とするためにも大切な視点と考えますので、よろしくお願ひします。今後とも、土地改良区の業務運営に一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申しあげ、令和6年度臨時総代会の挨拶と致します。

## 令和6年度臨時総代会



9月5日(木)午後1時30分より、新鶴生涯学習センター大集会室において令和6年度臨時総代会が開催されました。本総代会は、総代現数43名中、30名出席となり、二瓶甚一副理事長が総代会成立を宣言し、杉山純一理事長が挨拶を述べました。議長には第1選挙区の佐藤邦夫総代(佐賀瀬川)、議事録記名人に第1選挙区の弓田明雄総代(八木沢)、第2選挙区の國井正総代(牛川)が選出されました。総代会は、慎重審

議の結果、提出された議案5件は全て可決決定され、午後4時30分に閉会しました。

総代会での主な質問は、発電事業における売電単価が下がることによる事業継続の可否、及び女性理事登用に関する理事定数の追加についてでした。どちらの案件も本改良区において直面している課題であり、総代の皆様も非常に関心が高く、白熱した議論となりました。

### 提出案件

- |        |  |
|--------|--|
| 報告(1)  | 令和6年度業務経過報告について                          |
| 議案第1号  | 令和5年度事業報告書及び収支決算書並びに財務諸表の承認について          |
| 《監査報告》 |  |
| 議案第2号  | 定款の一部改定(案)について                           |
| 議案第3号  | 規約の一部改正(案)について                           |
| 議案第4号  | 役員、総代及び委員等の報酬額、費用弁償額及び旅費支給規程の一部改正(案)について |
| 議案第5号  | 令和6年度各会計収支予算の第一次補正(案)について                |

# 令和5年度財務状況の公表 (令和5年4月1日から令和6年3月31日)

規約第46条の規定に基づき、財務状況を次のとおり公表します。

## 収支決算書総括表 (一般会計+発電会計)

【収入】

単位：円

科目	予算額	決算額	比較増減	附記
I. 事業活動収入	579,844,000	579,570,411	273,589	
1. 土地改良事業収入	157,115,000	157,168,076	△ 53,076	賦課金、転用決済金
2. 附帯事業収入	1,591,000	1,603,313	△ 12,313	他目的使用料、協力金、分担金
3. 補助金等収入	30,997,000	30,986,734	10,266	補助金
4. 受託料収入	184,440,000	184,087,236	352,764	売電収入、管理事業委託金等
5. 交付金収入	6,300,000	6,300,000	0	適正化事業交付金
6. 寄付金収入	1,000	0	1,000	
7. 雑収入	214,000	249,970	△ 35,970	利息、手数料、雑収入、不納欠損処分後の賦課金見合分
8. 繰入金収入	199,186,000	199,175,082	10,918	他会計、他部門間からの繰入金収入
II. 投資活動収入	104,207,000	104,483,245	△ 276,245	長期未収賦課金、特定資産取崩収入
1. 基本財産売却収入	0	0	0	
2. 特定資産取崩収入	102,491,000	101,348,000	1,143,000	特定資産取崩等
3. その他固定資産売却収入	1,716,000	3,135,245	△ 1,419,245	長期未収賦課金等
III. 財務活動収入	1,801,000	1,800,000	1,000	
1. 借入金収入	1,801,000	1,800,000	1,000	
収入合計①	685,852,000	685,853,656	△ 1,656	

【支出】

単位：円

科目	予算額	決算額	比較増減	附記
I. 事業活動支出	532,231,000	523,691,816	8,539,184	
(事業費)				
1. 人件費	14,042,000	13,950,927	91,073	給料、賃金、法定福利費等
2. 一般管理費	197,873,000	193,140,647	4,732,353	管理事業運営費
3. 事業支出	13,826,000	13,366,894	459,106	事業負担金等
4. その他の支出	36,000	32,389	3,611	雑損失等
5. 繰出金支出	122,781,000	122,770,082	10,918	他会計・他部門間へ繰出金支出
(管理費)				
1. 人件費	77,502,000	75,804,736	1,697,264	役員・総代報酬、給料、法定福利費等
2. 一般管理費	24,805,000	23,265,154	1,539,846	事務所管理事務費
3. 事業支出	0	0	0	
4. その他の支出	4,961,000	4,955,987	5,013	借入償還利息等
5. 繰出金支出	76,405,000	76,405,000	0	他会計、他部門間へ繰出金支出
II. 投資活動支出	125,683,000	125,570,261	112,739	
1. 基本財産取得支出	0	0	0	
2. 特定資産取得支出	123,062,000	123,015,761	46,239	特定資産取得、積立
3. その他固定資産取得支出	2,621,000	2,554,500	66,500	その他資産取得等
III. 財務活動支出	33,877,000	33,873,047	3,953	
1. 借入金返済支出	33,877,000	33,873,047	3,953	借入金(元金)返済
IV. 予備費支出	7,889,000	0	7,889,000	
1. 予備費支出	7,889,000	0	7,889,000	
支出合計②	699,680,000	683,135,124	16,544,876	

単位：円

科目	予算額	決算額	比較増減
前期繰越収支差額	13,828,000	13,828,525	△ 525
当期繰越収支差額(①-②)	△ 13,828,000	2,718,532	△ 16,546,532
次期繰越収支差額	0	16,547,057	△ 16,547,057

※予算額は、第4次補正まで行った金額となります。

## 貸借対照表(総括表)

## I 資産の部

単位：円

科 目	R5年度	R4年度	増 減
1. 流動資産	88,278,304	78,426,369	9,851,935
普通預金	53,824,035	42,006,234	11,817,801
定期預金	4,573,014	4,573,014	0
未収金(賦課金等)	2,215,496	2,679,375	△463,879
短期未収金	27,665,759	29,167,746	△1,501,987
2. 固定資産	3,162,229,663	2,396,079,388	766,150,275
(1) 基本財産	41,838,572	43,232,215	△1,393,643
土地	6,339,460	6,339,460	0
建物	35,499,112	36,892,755	△1,393,643
(2) 特定資産	3,097,300,798	2,327,650,034	769,650,764
所有土地改良施設	1,731,671,220	907,273,519	824,397,701
土地改良施設建設仮勘定	49,808,532	85,973,160	△36,164,628
受託土地改良施設使用収益権	815,801,627	838,938,465	△23,136,838
財政調整積立資産	221,404,292	206,719,292	14,685,000
施設償却積立資産	40,904,171	81,451,984	△40,547,813
発電所積立資産	73,410,660	68,978,660	4,432,000
欠損調整積立資産	58,116,922	54,172,922	3,944,000
建設改良積立資産	15,293,738	14,805,738	488,000
災害準備積立資産	0	0	0
職員退職給付引当積立資産	71,129,296	64,177,954	6,951,342
役員総代退任慰労引当積立資産	771,000	514,000	257,000
発電所修繕引当積立資産	92,400,000	73,623,000	18,777,000
(3) その他固定資産	23,090,293	25,197,139	△2,106,846
土地	1,660,005	1,028	1,658,977
構築物	4,275,898	5,914,925	△1,639,027
車両運搬具	1,013,379	1,381,879	△368,500
工具器具備品	2,839,659	1,894,993	944,666
適正化事業拠出金	0	1,680,000	△1,680,000
出資	2,790,000	2,790,000	0
特例業務負担金長期前納金	3,784,587	4,257,651	△473,064
長期未収賦課金等	6,726,765	7,276,663	△549,898
長期未収賦課金	6,726,765	7,248,426	△521,661
長期未収金	0	28,237	△28,237
資産の部合計	3,250,507,967	2,474,505,757	776,002,210

## II 負債の部

単位：円

科 目	R5年度	R4年度	増 減
1. 流動負債	67,294,247	57,481,469	9,812,778
未払金	66,514,466	57,306,963	9,207,503
預り金	779,781	174,506	605,275
2. 固定負債	371,971,182	378,474,507	△6,503,325
長期借入金	202,897,886	234,970,933	△32,073,047
発電所修繕引当金	92,400,000	73,623,000	18,777,000
職員退職給付引当金	71,129,296	64,257,574	6,871,722
役員総代退任慰労金引当金	771,000	514,000	257,000
適正化事業拠出金未払金	336,000	672,000	△336,000
長期預り金	4,437,000	4,437,000	0
負債の部合計	439,265,429	435,955,976	3,309,453

## III 正味財産の部

単位：円

科 目	R5年度	R4年度	増 減
1. 基金	0	0	0
2. 指定正味財産	810,011,844	0	810,011,844
所有土地改良施設受贈益	810,011,844	0	810,011,844
3. 一般正味財産	2,001,230,694	2,038,549,781	△37,319,087
(うち基本財産への充当額)	(41,838,572)	(43,232,215)	(△1,393,643)
(うち特定資産への充当額)	(3,097,300,798)	(2,327,650,034)	(769,650,764)
正味財産の部合計	2,811,242,538	2,038,549,781	772,692,757
負債及び正味財産合計	3,250,507,967	2,474,505,757	776,002,210

## 正味財産増減計算書(総括表)

### I 一般正味財産増減の部

単位：円

科 目	R 5年度	R 4年度	増 減
1. 経常増減の部	△ 38,884,022	△ 1,691,447	△ 37,192,575
(1) 経常収益	391,297,496	385,603,515	5,693,981
土地改良事業収入	157,168,076	159,588,616	△ 2,420,540
附帯事業収入	1,603,313	1,640,366	△ 37,053
補助金等収入	30,986,734	18,008,966	12,977,768
受託料収入	184,087,236	202,235,456	△ 18,148,220
交付金収入	4,200,000	3,360,000	840,000
寄付金収入	0	0	0
雑収入	249,970	770,111	△ 520,141
固定資産受贈益	13,002,167	0	13,002,167
(2) 経常費用	430,181,518	387,294,962	42,886,556
(事業費)			
人件費	13,950,927	13,676,316	274,611
一般管理費	212,160,927	192,421,741	19,739,186
事業負担金等	13,366,894	11,716,150	1,650,744
その他の支出	32,389	31,033	1,356
(管理費)			
人件費	83,406,522	84,833,429	△ 1,426,907
一般管理費	97,843,187	78,953,663	18,889,524
事業負担金等	4,464,685	0	4,464,685
その他の支出	4,955,987	5,662,630	△ 706,643
2. 経常外増減の部	1,564,935	431	1,564,504
(1) 経常外収益	200,834,059	192,316,592	8,517,467
基本財産売却益	0	0	0
特定資産売却益	0	0	0
その他固定資産売却益	0	49,999	△ 49,999
基本財産受贈益	0	0	0
特定資産受贈益	0	0	0
その他固定資産受贈益	1,658,977	0	1,658,977
資産評価益	0	0	0
他会計等振替額	199,175,082	192,266,593	6,908,489
過年度修正(益)	0	0	0
(2) 経常外費用	199,269,124	192,316,161	6,952,963
基本財産売却損	0	0	0
特定資産売却損	0	0	0
その他固定資産売却損	0	0	0
基本財産除却損	0	0	0
特定資産除却損	0	0	0
その他固定資産除却損	94,042	49,568	44,474
資産評価損	0	0	0
他会計等振替額	199,175,082	192,266,593	6,908,489
過年度修正(損)	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 37,319,087	△ 1,691,016	△ 35,628,071
一般正味財産期首残高	2,038,549,781	2,040,240,797	△ 1,691,016
一般正味財産期末残高	2,001,230,694	2,038,549,781	△ 37,319,087

### II 指定正味財産増減の部

単位：円

科 目	R 5年度	R 4年度	増 減
固定資産受贈益	823,014,011	0	823,014,011
一般正味財産への振替額	13,002,167	0	13,002,167
当期指定正味財産増減額	810,011,844	0	810,011,844
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	810,011,844	0	810,011,844

### III 基金増減の部

単位：円

科 目	R 5年度	R 4年度	増 減
基金増減額	0	0	0

### IV 正味財産期末残高

単位：円

科 目	R 5年度	R 4年度	増 減
正味財産期末残高	2,811,242,538	2,038,549,781	772,692,757

#### ○主な財務諸表分析結果

- ・土地改良施設減価償却率 47.0% 【数値が高いほど固定資産を取得してから時間が経ち資産価値が減少していることを示す。】
- ・施設更新積立資産保有度 3.5% 【数値が高いほど施設更新に備える準備が進んでいる。】
- ・賦課金収入比率 40.1% 【経常収入に占める賦課金収入の比率を示す。数値が高いほど賦課金収入の重要度が高い。】

## 令和5年度賦課金の徴収状況

賦課金科目	調定額(円)	徴収済額(円)	未収額(円)	徴収率(%)
経常賦課金	47,934,890	47,426,145	508,745	98.9
維持管理賦課金	59,137,865	58,421,217	716,648	98.8
施設改修賦課金	14,043,783	13,860,570	183,213	98.7
麻生新田堰施設改修賦課金	13,029	13,029	0	100.0
国営二期事業償還賦課金	26,977,292	26,343,285	634,007	97.6
県営かんがい排水事業償還賦課金	3,522,343	3,454,900	67,443	98.1
宇内地区基盤整備事業償還賦課金	622,225	577,036	45,189	92.7
防災減災事業償還賦課金	4,618,627	4,558,376	60,251	98.7
<b>合計</b>	<b>156,870,054</b>	<b>154,654,558</b>	<b>2,215,496</b>	<b>98.6</b>

科目	令和5年度当初未収額(円)	徴収済額(円)	未収額(円)	徴収率(%)
長期未収賦課金	9,927,801	3,107,008		
(内、不納欠損処分額)	△ 94,028	R6.3.22第20回通常総代会にて承認		
<b>合計</b>	<b>9,833,773</b>	<b>3,107,008</b>	<b>6,726,765</b>	<b>31.6</b>

科目	調定額(円)	徴収済額(円)	未収額(円)	徴収率(%)
協力金	1,053,216	1,053,216	0	100.0
分担金	484,617	484,617	0	100.0
<b>合計</b>	<b>1,537,833</b>	<b>1,537,833</b>	<b>0</b>	<b>100.0</b>

科目	調定額(円)	徴収済額(円)	未収額(円)	徴収率(%)
長期未収金	28,237	28,237	0	100.0

## 長期借入状況

科目	借入先	償還期限	残額(円)
県営かんがい排水事業償還金	(株)日本政策金融公庫	令和9年12月20日	7,831,064
国営二期事業償還金	J A 会津よつば	令和11年9月30日	174,448,000
宇内地区経営体育成基盤整備事業償還金	(株)日本政策金融公庫	令和9年1月20日	1,554,921
杉地区農業水路等長寿命化・防災減災事業	(株)日本政策金融公庫	令和14年1月20日	32,299,824
逆水2号堰地区農業水路等長寿命化・防災減災事業	(株)日本政策金融公庫	令和16年1月20日	1,910,680

※残額は、元金と利息の合算額です。

## 土地改良区関連実施事業の実施状況

地区	事業名	全体事業費(円)	R5事業費(円)	R5工事内容
梁田	農地中間管理機構関連農地整備事業	329,000,000	15,000,000	補完工事
梁田	経営体育成促進事業(調査・調整事業)	4,150,000	450,000	要件達成に向けた勉強会など
佐布川	農村地域防災減災事業	751,000,000	117,022,000	堰体工、護床工、魚道工
大窪	農村地域防災減災事業	470,000,000	110,000,000	堰体工、底樋工
赤沢川除塵機	土地改良施設維持管理適正化事業	7,000,000	1,169,000	除塵機のコンパアチェーン交換
金沢揚水機	土地改良施設維持管理適正化事業	5,600,000	347,200	抛金のみ支出。工事はR4に実施済み。
逆水2号堰地区	農業水路等長寿命化・防災減災事業	90,000,000	10,000,000	実施設計
会津宮川	水利施設等保全高度化事業(機能保全計画)	30,000,000	15,000,000	施設(管理水路)の調査

※事業報告書、収支決算書、財務諸表等の詳細は、ホームページで公開しております。

## 主な実施事業の工事写真

### 農地中間管理機構関連農地整備事業「梁田地区」 補完工事



補完工(畦畔の石礫除去)

※事業は県営事業により実施



補完工(除去した石礫)



補完工(暗渠排水)

### 防災減災事業「大窪地区」



堤体工

※事業は県営事業により実施



底樋工

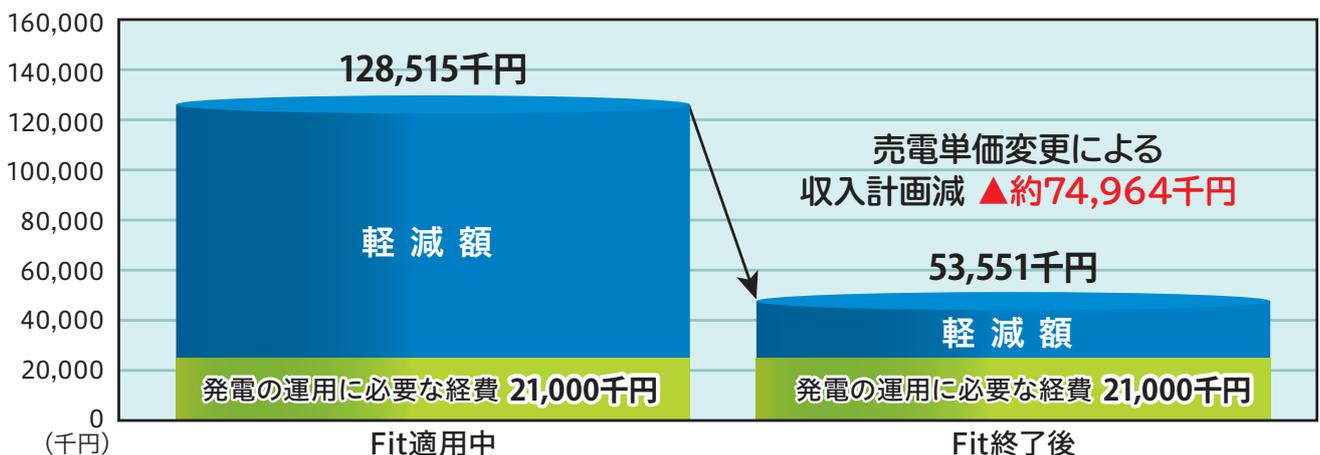


底樋工

## 小水力発電の運営経費について

過去の広報でもお知らせしておりますが、国の制度である固定価格買取制度が令和6年10月で期間満了となり、売電単価が26.4円/kWh(税込)から11円/kWh(税込)に変更となりました。新宮川ダム発電所は運用開始から20年が経過し、来年度以降大規模な更新を控えております。なお、費用については、更新のために行ってきた積立金を取り崩し、まかなっていきます。

売電単価変更に伴う見込み額については、年間約53,000千円を計画しており、その内、発電所を運用するために必ず必要な経費については、約21,000千円程度を見込んでおります。その差額約32,000千円が改良区の負担軽減額となります。今後は気候変動(冬季の少雪や夏季の渇水)による発電売上の減少や発電の維持管理経費が今後嵩む事が予想されますが、組合員負担の軽減額が見込める状況である限り、今後も発電所の維持管理に努めて参りますのでご理解のほどよろしくお願い致します。



※軽減額は、土地改良区が管理する施設の電気料や維持管理経費に充当されます。

# 任期満了に伴う総代選挙について

令和7年3月28日をもって現総代の任期が満了となります。本土地改良区定款附属書総代選挙規程に基づき総代選挙を執行いたします。選挙区の人数は次のとおりとなります。

選挙区	選挙区域	人数
第一選挙区	会津美里町（高田、新鶴、本郷）、会津若松市	31名
第二選挙区	会津坂下町	13名
合計		44名

# 任期満了に伴う役員選任について

令和7年4月10日をもって現役員任期が満了となります。本土地改良区定款附属書役員選任規程に基づき実施いたします。選挙区人数は次のとおりとなります。

選任区	被選任区域	理事人数	監事人数
第一選挙区	会津美里町（高田、新鶴、本郷）、会津若松市	6名	2名
第二選挙区	会津坂下町	3名	1名
組合員以外	（内、2名は女性）	4名	—
合計		13名	3名

※国が示す第5次女性参画共同計画によると、2025年までに女性理事が占める割合を10%以上とする成果目標が設定され、男性も女性も意欲に応じて活躍できる社会を構築するため、当土地改良区においても女性理事2名の登用が決定いたしました。従って、組合員以外の人数の内、2人は女性限定となります。

いざ、スタート。  
2025年度に向けて—

この町みんなが  
参加できる土地改良へ

**女性理事登用**  
2025年度までに  
女性理事が占める割合を**10%以上**に!

**働き場を、再点検**  
働き場を、再点検

全国水士業ネット・都道府県水士業ネット

# 油漏れ事故について



トラクターなどの重機の点検や灯油タンクの閉め忘れによる油の流出事故が多発しております。油流出事故は、**原因者が被害額を負担**することになるので、事故を起こさないように十分注意しましょう。また、油流出事故が発生した場合または油流出事故を見つけた場合は、被害軽減のために速やかに消防署や警察署、会津地方振興局、役所、改良区のいずれかに連絡するようお願いします。

## 発行：会津宮川土地改良区 総務課

〒969-6266  
福島県大沼郡会津美里町字油田1545番地  
TEL 0242-54-7154 FAX 0242-54-3596  
Mail midori-net@aizumiyakawa.jp



- ホームページ <http://www.aizumiyakawa.jp/>
- X (旧twitter) <https://twitter.com/aizumiyakawa/>
- 新宮川ダム状況 <https://www.river.go.jp/index/>  
(国土交通省川の防災情報ホームページ)

ダムカードと水の恵みカードの配布も行っております。

